

メタ・プラットフォームズ

ディスプレイ非搭載のスマートグラス発表

米Facebookは2021年10月に、メタバースへの意欲を示すためにその社名を「Meta Platforms (メタ)」に変更し、VR/AR製品担当バイスプレジデントのアンドリュー・ボスワース氏が、22年にCTOに就任すると発表した。さらに、メタバースの構築に5000万ドルを投資することも発表した。メタバースとは、同社によれば「自分と同じ物理空間にいない他の人と一緒に作成したり探索できる一連の仮想空間」で、友達と遊んだり、仕事をしたり、遊んだり、学んだり、買い物をしたり、何かを作成したりすることができる仮想空間だという。ボスワース氏の起用は、このメタバース構想を推進していく一貫とされる。

同社が21年9月に発表したスマートグラスは、ディスプレイが搭載されず、カメラとスピーカーを内蔵したものとなった。同社は、サングラスで有名なレイバンブランドを持つ仏・メーカー EssilorLuxottica と、スマートグラスの「Ray-Ban Stories」を共同開発したと発表した。価格は299ドル～。オンラインのほか、米、豪、カナダ、アイルランド、伊、英の販売店で展開

されている。

同製品は、写真や動画の撮影、音楽の視聴、通話を全く新しい方法で行うことができる。レイバンの定番モデルのほか、20種類のバリエーションで展開され、レンズもクリア、サン、トランジション、度付きなどに変更可能。フレーム内に2つのカメラ、1つのマイクロスピーカー、3つのマイクロオーディオ、Snapdragon プロセッサー、静電容量式タッチパッド、バッテリーなどをすべて収めた。

内蔵された2つのカメラは500万画素で、写真や動画(最大30秒)をキャプチャーボタンを使って撮影したり、FBアシスタントの音声コマンドを使ってハンズフリーで撮影することが可能。撮影された映像は、新しいアプリの Facebook View と連携することで、ソーシャルメディアへのアップロードも簡便だ。撮影中はカメラ横にあるLEDが点灯し、周囲の人に知らせる仕組みになっている。

音に関してはオープンイヤースピーカーを内蔵し、3つのマイクロフォンオーディオによって、通話や音楽を聴くことが可能。ビームフォーミング技術とバックグラウンドノイズ抑制アルゴリズムにより、専用ヘッドフォンのような優



メタが発表したスピーカー搭載サングラス